

基本目標No.	1	基本目標名	にぎわい、活力あるまち
施策No.	4	施策名	農業の振興
主管課名	農林水産課		
関係課名	環境安全課・都市計画課		

施策が目指す
す
が
た

- 生産基盤の整備や生産の効率化が進み安定した農業経営が行われています。
- 多様な農業の担い手が育っています。
- 安全で安心な農産物が生産されブランド化も進んでいます。
- 鳥獣被害や耕作放棄地が減り、農村が活性化しています。

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> 安全で新鮮な地場産食材を積極的に購入します。 事業者は、農地を守り安全で安心な農作物を提供します。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> 農業生産基盤の機能維持確保と農業経営の安定化を図ります。 農業の担い手や後継者育成と新規就農者の支援を行います。 「安全・安心」「高品質」な農産物の栽培とブランド化や地産地消を図ります。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関・団体(農協、土地改良区等)と連携して、農業の振興に努めます。

市民意識調査結果

<施策満足度調査結果>				
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
-0.060	-0.026	-0.021	-0.069	

<施策重要度調査結果>				
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	0.610	0.569	0.571	

施策の トータル コスト	区 分	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	40 (40)	39 (39)	36 (36)	
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	10 (10)	11 (11)	9 (9)	
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	20 (20)	21 (21)	21 (21)	
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	10 (10)	7 (7)	6 (6)	
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—				
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	234,522	333,616	192,436	
	うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	98,518	234,024	79,284	
	うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	120,194	96,337	109,534	
	うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	15,810	3,255	3,617	
	うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—				
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	61	66	52	
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	17,120	20,380	16,030	
	E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	—	75,311	85,474	70,243	
	F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	309,833	419,090	262,679	
効率性 指標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	5,292	7,576	4,418	
	同 上 H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	1,699	1,941	1,613	
	同 上 I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	6,992	9,517	6,031	
参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	—	4,399	4,194	4,382	
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	—	44,315	44,036	43,555	

基本事業概要シート①

施策No.	4	施策名	農業の振興
基本事業名①		農業生産基盤の整備強化	
基本事業①の目的(意図)		生産基盤の整備や生産の効率化が進み安定した農業経営が行われています。	
平成26年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【農地流動化促進対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域農業の担い手となる農家等への農地集積を促進し農業経営の効率化や安定化を図るため、「農地集積協力金」(対象:貸し手農家等)を交付しました。(H26集積実績面積:20.1ha) <p>【土地改良事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体営事業、国営事業、県営事業により、農地や農業用施設等の整備、改修を行いました。 ・黒谷地区において「小水力発電施設」の整備を開始しました。(事業期間H26~28) <p>【県単独農業農村整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水路の改修工事(9か所)を計画していましたが、豪雨災害の発生により実施できなかったため平成27年度へ繰り越すこととしました。 <p>【市単独土地改良事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市単独事業により、水路及び農道の改修工事を行いました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
担い手による農地利用集積率	%	43.3	45.0	48.0	51.0	54.0	57.0	60.0	70.0
			50.9	50.9	49.4	51.0	51.2		

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業)

No.	会計名	事務事業名	平成26年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	農地流動化促進対策事業	5,634,000	4,803,288	830,712	-	農業委員会事務局
2	一般会計	農業用施設等管理費	8,326,000	7,462,738	863,262	-	農林水産課
3	一般会計	◎土地改良事業	65,490,000	52,952,290	12,537,710	A	農林水産課
4	一般会計	土地改良団体振興事業	1,402,000	1,162,230	239,770	-	農林水産課
5	一般会計	○耕作放棄地復元事業	250,000	0	250,000	A	農林水産課
6	予算なし	農業振興地域整備事業	0	0	0	-	農林水産課
7	一般会計	◎県単独農業農村整備事業	13,511,000	11,081,309	2,429,691	B	農林水産課
8	一般会計	◎農業基盤整備促進事業	20,530,000	0	20,530,000	B	農林水産課
9	一般会計	○市単独土地改良事業	2,402,000	1,821,983	580,017	B	農林水産課
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
31					0		
32					0		
33					0		
34					0		
35					0		
合計			117,545,000	79,283,838	38,261,162		

基本事業概要シート②

施策No.	4	施策名	農業の振興
基本事業名②		農業経営基盤の整備強化と担い手育成	
基本事業②の目的(意図)		多様な農業の担い手が育っています。鳥獣被害や耕作放棄地が減り、農村が活性化しています。	
平成26年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【元気な中山間地域づくり支援事業】 ・集落協定を締結する中山間地域の23集落(法指定:16集落、特認:7集落)に対し、不利益を補正するとともに農地等の保全、農業の継続、有害鳥獣対策、耕作放棄対策等の活動を行うための交付金を交付しました。対象農地:3,725,890㎡、交付額:57,060,637円</p> <p>【多面的支払交付金事業】 ・農地や農業用施設(水路、農道等)の保全等の活動を行う活動組織(農業者、地域住民等で構成し、協定を締結)44団体に対し、交付金を交付しました。協定面積:119,865㎡、交付金:66,831,580円(うち市費16,707,895円)</p> <p>【農業後継者育成事業】 ・青年等就農者に認定された3名に対して青年就農給付金を支給しました。</p> <p>【担い手育成推進事業】 ・集落営農組織が経営の効率化、安定化のため整備した農業機械の導入に対して支援しました。 (H26実績 1組織:トラクター、乾燥調製施設の整備)</p>	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
認定農業者(法人含む)	人	65	66	67	68	69	70	70	70
里山整備面積	ha	37.2	50.0	60.0	70.0	80.0	90.0	100	150
			49.5	61.5	82.7	106.7	141.6		

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業)

No.	会計名	事務事業名	平成26年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	農業者年金事業	400,000	150,220	249,780	-	農業委員会事務局
2	一般会計	家畜診療事業	1,473,000	1,256,134	216,866	-	農林水産課
3	一般会計	優良家畜導入事業	500,000	425,000	75,000	-	農林水産課
4	一般会計	受精卵移植事業	144,000	144,000	0	-	農林水産課
5	一般会計	家畜法定伝染病防疫衛生対策事業	72,000	63,195	8,805	-	農林水産課
6	一般会計	◎鳥獣被害対策事業	150,000	150,000	0	A	農林水産課
7	一般会計	農業関係団体育成事業	80,500	79,414	1,086	-	農林水産課
8	一般会計	農業制度資金利子補給事業	331,000	311,207	19,793	-	農林水産課
9	一般会計	○元気な中山間地域づくり支援事業	57,405,000	57,400,637	4,363	A	農林水産課
10	一般会計	○多面的支払交付金事業	17,332,000	16,869,895	462,105	A	農林水産課
11	一般会計	農業改良普及事業	1,445,000	1,395,000	50,000	-	農林水産課
12	一般会計	生産調整推進対策事業	5,060,000	5,060,000	0	-	農林水産課
13	一般会計	○農業後継者育成事業	4,599,000	4,595,650	3,350	A	農林水産課
14	一般会計	野菜価格安定事業	891,000	455,347	435,653	-	農林水産課
15	一般会計	◎集落営農組織支援事業	1,450,000	1,242,000	208,000	A	農林水産課
16	一般会計	農業委員会運営事業	5,390,000	5,306,069	83,931	-	農林水産課
17	一般会計	水田利活用推進事業	5,008,000	3,818,600	1,189,400	-	農林水産課
18	一般会計	○人・農地プラン作成事業	360,000	180,000	180,000	A	農林水産課
19	一般会計	園芸産地支援事業	400,000	400,000	0	-	農林水産課
20	一般会計	口蹄疫防疫体制整備強化事業	461,000	460,000	1,000	-	農林水産課
21	一般会計	担い手育成推進事業	10,500,000	9,772,000	728,000	-	農林水産課
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
31					0		
32					0		
33					0		
34					0		
35					0		
合計			113,451,500	109,534,368	3,917,132		

基本事業概要シート③

施策No.	4	施策名	農業の振興
基本事業名③		農産物のブランド化推進	
基本事業③の目的(意図)		安全で安心な農産物が生産されブランド化も進んでいます。	
平成26年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【環境にやさしい農業推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安全・安心な米づくり」や「ブランド・差別化」を図ることを目的に、「有機資材を散布」して減化学肥料に取り組んだ農業者に対し、負担増となる経費の一部を支援しました。(H26 実施した農家:22戸) <p>【地産地消事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産食材活用推進協議会を事業主体として、学校給食への地場産食材の活用(特別給食の日:3回)、小学生と生産者の合同調理実習(2回)を行い、地場産食材のPRと普及促進に努めました。 <p>【農産物ブランド化推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とやまブランド」品目のチューリップ球根栽培に新たに取り組み、栽培面積の拡大を図る生産者に対し、種球根の導入や専用機械リースに係る経費の一部を支援しました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
エコファーマー認定者数	人	107	110 124	115 143	120 142	125 131	130 133	135	150
米の1等米比率	%	97.5	95以上 63.0	95以上 92.2	95以上 54.5	95以上 74.0	95以上 97.3	95以上	95以上
地場産食材をほぼ毎日使っている人の割合	%	—	34.1 34.1	36.0 35.9	37.0 29.1	38.0 31.0	39.0 31.0	40.0	45.0

基本事業③を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業)

No.	会計名	事務事業名	平成26年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	◎環境にやさしい農業推進事業	750,000	407,230	342,770	B	農林水産課
2	一般会計	○地産地消事業	2,107,000	1,936,361	170,639	A	農林水産課
3	一般会計	カノコユリロード設置事業	350,000	350,000	0	-	農林水産課
4	一般会計	◎農産物ブランド化推進事業	555,000	411,000	144,000	A	農林水産課
5	一般会計	◎環境保全型農業直接支援対策事業	521,000	512,820	8,180	A	農林水産課
6	一般会計	○農産物直売加工施設整備支援事業	500,000	0	500,000	A	農林水産課
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
31					0		
32					0		
33					0		
34					0		
35					0		
合計			4,783,000	3,617,411	1,165,589		

施策No.	4	施策名	農業の振興
26年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①農業生産基盤の整備強化】</p> <p>◆地域農業の担い手としての認定農業者、集落営農組織、大規模農業者等への農地の集積は、前年比0.2ポイント増加の51.2%(集積面積:949ha)となりましたが、市の目標値には達していません。近年は、ほぼ横ばいで推移しています。</p> <p>【②農業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <p>◆認定農業者数は、平成26年度末で63経営体(前年比△1)となっています。(近隣市町:滑川市68、黒部市91、入善町125、朝日町49) また、集落営農組織については、28組織があります。そのうち協業型は13組織、さらにそのうちの9組織が法人となっています。</p> <p>【③農産物のブランド化推進】</p> <p>◆市民意識調査結果では、「地場産食材をほぼ毎日使っている人」の割合は31%で前年結果と同じ数値、また市の目標値には達していませんが、「週に数回使っている人」の割合が49%あり、市民の地産地消に対する意識は高まっています。 ◆米の一等米比率は、95%以上を目標に掲げていますが、平成21年度産米以降は達成することができませんでした。しかし、平成26年度は5年ぶりに目標値を超え97.3%となりました。 ◆エコファーマーの認定数は、平成26年度末で133となっています。(近隣市町:滑川市11、黒部市39、入善町48、朝日町15)</p>		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (26年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p>【①農業生産基盤の整備強化】</p> <p><農地流動化促進対策事業></p> <p>◆地域農業の担い手となる農家等への農地集積を促進し農業経営の効率化や安定化を図るため、「農地集積協力金」(対象:貸し手農家等)を交付しました。(H26集積実績面積:20.1ha)</p> <p>【②農業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <p><元気な中山間地域づくり支援事業></p> <p>◆集落協定を締結する中山間地域の23集落(法指定:16集落、特認:7集落)に対し、不利益を補正するとともに農地等の保全、耕作放棄地や鳥獣被害対策等の活動を行うための交付金を交付しました。対象農地:3,725,890㎡、交付額:57,060,637円</p> <p><多面的支払交付金事業></p> <p>◆農地や農業用施設(水路、農道等)の保全等の活動を行う活動組織(農業者、地域住民等で構成し、協定を締結)44団体に対し、交付金を交付しました。協定面積:119,865㎡、交付金:66,831,580円(うち市費16,707,895円)</p> <p><集落営農組織支援事業></p> <p>◆農事組合法人の経営安定を図るため、農業用機械に係る固定資産税額に相当する額を助成しました。(H26実績 3法人、1,242,000円)</p> <p>【③農産物のブランド化推進】</p> <p><環境にやさしい農業推進事業></p> <p>◆「安全・安心な米づくり」や「ブランド・差別化」を図ることを目的に、「有機資材を散布」して減化学肥料に取り組んだ農業者に対し、負担増となる経費の一部を支援しました。(H26 実施した農家:22戸)</p> <p><地産地消事業></p> <p>◆地場産食材活用推進協議会を事業主体として、学校給食への地場産食材の活用(特別給食の日:3回)、小学生と生産者の合同調理実習(2回)を行い、地場産食材のPRと普及促進に努めました。</p>			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①農業生産基盤の整備強化】</p> <p>◆担い手への農地集積は増加傾向が続いていますが、市の目標値には達していません。農地中間管理機構を介した新規制度を活用して、引き続き担い手への農地集積に努めていきます。</p> <p>◆更新期(老朽化)にある農業用施設(水路、農道等)の維持管理や改修等を計画的に行っていく必要があります。国や県の補助事業を活用、また市単独事業により順次実施していきます。</p> <p>◆平成26年7月豪雨により被災した農地や農業用施設の復旧工事については、平成27年度への繰越した工事の早急な実施、完成を目指します。(施策No.11 災害に強いまちの形成)</p> <p>【②農業経営基盤の整備強化と担い手育成】</p> <p>◆本市の基幹産業である一次産業(農業・林業・水産業)の活性化のため、新規担い手の確保や認定農業者の育成が求められています。既存事業をはじめ、新規事業「一次産業担い手育成事業」を適切に実施していきます。(施策No.4.5.6共通)</p> <p>◆中山間地域における農地や水路の維持保全、農業の継続、有害鳥獣対策、耕作放棄地対策は大きな課題です。引き続き「元気な中山間地域づくり支援事業」に取り組むため、対象地域との協議、連携に努めていきます。</p> <p>【③農産物のブランド化推進】</p> <p>◆消費者ニーズに即した「安全・安心」「高品質」な農産物の栽培を引き続き強力で推進し、「地場産食材を使う市民の割合の向上に努めます。</p> <p>◆JAが指定する1億円産地づくり戦略品目「ジャガイモ」、「ねぎたん」の生産量や販売が計画には及ばない状況です。「1億円産地づくり条件整備事業」による機械整備について支援します。本市の特産、ブランドとして確立されるよう引き続きJAと連携して進めていきます。</p>			
部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)	<p>施策の重要度</p> <p>一般</p>	<p>◆農業所得の増加、農業経営の効率化、安定化を図るとともに、集落営農組織や認定農業者など農業の担い手となる経営体の育成に努めること。</p> <p>◆農業用施設は、老朽化が進行している施設も多くあるため、計画的に整備していくこと。</p> <p>◆中山間地域における鳥獣被害対策を推進し、農業の継続や耕作放棄地対策に努めること。</p> <p>◆引き続き、地産地消の推進や6次産業化を促進し、農業経営の安定に努めること。</p>	
経営戦略会議 における施策 の課題及び方針	<p>施策の重要度</p> <p>一般</p>	<p>◆農業用施設の改修や更新を計画的に実施し、適切な維持管理を行います。</p> <p>◆農地の集約化や複合化を推進し、地域の担い手の経営安定と確保、育成を図ります。</p> <p>◆地産地消や6次産業化の推進と地場産品の消費の拡大を図ります。</p> <p>◆野生鳥獣による農作物の被害防止対策を強化します。</p>	